チリ通信

2024 年 9 月 30 日　第 13 号

JICA 海外協力隊　チリ派遣
環境教育隊員　境 純一

チリ独立記念日

~Fiestas Patrias de Chile~

9 月 18 日はチリの独立記念日。1818 年にスペインからの独立を果たしたチリ人にとってこの日は特別な意味を持っています。そして国内では 9 月に入るとこの日を盛り上げるために社会全体が一気にお祝いムードに様変わり。町ではあらゆる場所で国旗が掲げられるようになり、赤、白、青の旗が風になびく光景は荘厳とした佇まいでとても美しいです。

国民舞踊クエッカ

そんな中、9 月に私はある大きな挑戦をしました。市の祝賀式典でチリの国民舞踊「クエッカ」を踊るというものです。クエッカはチリを代表する国民舞踊で、カウボーイの衣装を着た男性と花柄のドレスを着た女性の恋の駆け引きが特徴の歴史あるダンスです。そんなクエッカは 9 月に入るとチリ全土で踊られるようになり、独立記念日の祝賀ムードをさらに高めます。以前からこの踊りに興味があった私はいつか踊りたいと考えており、今回が絶好のチャンスが訪れたため一つの自分自身の挑戦として望むことにしました。

式典当日、会場には市長をはじめとする関係者。そして多くの観客。当然ながら緊張しました。そしてアジア人がチリの伝統衣装を着ている姿が目立たないわけがなく、会場からは多くの視線を感じました。

そして緊張で脚が震える中ダンスがスタート。始まった途端、自分でもびっくりするくらいダンスのリズムが分からなくなり、ステップを踏み間違えるなどミスを連発してしまいました。本番という場はほんとうに怖いです。しかしミスに

祝賀式典での写真。ペアを組んだ方（中央）と市長（左）。

ダンスが始まる前。

はとことん寛容で挑戦している人に対しては温かいエールを送ってくれるのがチリ人の良いところです。ダンスが終わると待っていたのは大きな拍手と「ブラボー！」の声でした。たとえお世辞だったとしてもこの反応は自分の心にすごく沁みました。

外国人である私がこの町で幸せに暮らせて、その上このような場にも立たせてくれるのは紛れもなく周りの方の支えがあるからこそ。そんなことを改めて感じた１日でした。また私が踊る様子を見て自分のことのように楽しそうにしてくれた同僚や仲間の姿がとても嬉しく、それだけでも今回挑戦した甲斐があったなと思います。

式典の後日行われた別のダンスイベントでの様子。

練習風景。

一緒に練習を行った地元のみなさん。

地元住民との交流

さらに今回の経験を通じて地元の人たちとの繋がりがより増えました。ペアを組んでくれた女性、地域のダンスコミュニティで出会った地元の人たち、ダンス見たよと声をかけてくれる地域の人たち。普段は接することのない方たちとの交流が増えたことはとても嬉しいです。そして同時にチリという国に対する自分自身の見方にも変化がありました。うまく言語化できないのですが、これまでは外国人というフィルターを通して外から眺めていたチリ文化を、今はもっと内側から見ることができている気がします。ここ最近は良くも悪くも現地での生活に慣れてしまい、新しいことに対する興味が薄れている時期でしたが、今回のように新しいことに本気で挑戦してみるとこれまでとは違う視点から物事が見られるようになるという新たな学びになりました

こちらの QR コードから当日の様子を見ることができます。👉